

速報リリース：スマートイルミネーション横浜 2019 アートプログラム3作品を先駆けて発表します

スマートイルミネーション横浜実行委員会は、11月1日(金)から4日間開催する国際アートイベント『スマートイルミネーション横浜 2019』のメインコンテンツであるアートプログラム3作品を先行発表します。今年で9回目を迎える本イベントは、人々のこれからの暮らし方に意識を向けるきっかけとなる「夜の豊かな暗さ」を演出、ベテランから若手作家が表現する体感型の現代アート作品を展開します。横浜が誇る美しい都市景観を市民や来場者とともに共有しながら、世界に向けて「創作的横浜夜景」を発信していきます。報道関係の皆様には是非ご注目いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<アートプログラムのご紹介>

【コンセプト】

今年のアートプログラムのテーマは「スポーツ・からだ・エモーション」。

2019年はラグビーワールドカップ日本大会の開催年です。横浜でも決勝戦・準決勝戦・プール戦4試合の合計7試合が開催されるなど、スポーツへの注目が高まっています。こうした機運を捉え、今年スマートイルミネーション横浜では、『人間の身体』に着目し身体性や運動性、人体のさまざまな営みの中からヒントを得て生み出された作品群を、象の鼻パーク・象の鼻テラスに展示します。本イベントのコンセプトである環境・省エネ技術の活用を図りつつ、人種や言語の壁を越え、世界の誰もが身体的に楽しむことができる光のアートフェスティバルを構成します。

* 現段階での出品作家は10組、大学は5校、企業は1社。プログラム数は全19点を予定しています。

* 随時出品作品や連携プログラムなど、最新情報を発表します。

【1】 たまごプロジェクト / TAMAGO PROJECT

作家名：ミラーボウラー / MIRRORBOWLER

その場に居合わせた人々が自転車を漕ぐことで、思い思いの光を作り出し、光のハーモニーを奏でる「たまご」型のオブジェを照射させる参加型のインスタレーションです。言語や年齢、性別を越えて見知らぬ人同士が共に自らの運動エネルギーで作り出す「ヒカリ」によって輝く「たまご」は、人と人の会話のいらぬ心をつなかりを生み出します。人の喜びで作られた「たまご」はそのような友愛の世界への可能性を秘めた作品です。音楽に合わせて漕ぎ手の心的情景をヒカリで視覚化するプロジェクト「たまごオーケストラ」も開催します。



©MIRRORBOWLERS Inc.



©MIRRORBOWLERS Inc.

PROFILE：光と反射の空間作品をミラーボールを使って作り出すアート集団。2000年より活動を始める。グラフィックデザイナー、写真家、美術家、照明家など様々なジャンルのメンバーからなる。その作品は無数の光と色彩を放ち、幻想的で独自の宇宙観に溢れた空間で、心に届く新しいヒカリの在り方を探し求める。

[2] ルミナスピンポン / Luminous Ping Pong

作家名：原倫太郎+原游 / Rintaro Hara + Yu Hara

ブラックライトで蛍光に輝く、オリジナルの卓球台「木琴型」と「4人でプレイできる型」の2タイプが象の鼻テラス内に展開。木琴型は、球が当たる場所によって木琴のようにさまざまな音が鳴る仕掛けになっているため聴覚的にも楽しめます。4人でプレイできる型は、スマートイルミネーション・サミット2019の参加都市である、リヨン・ニューヨーク・ジャカルタ・横浜の4都市の輪郭をデザインに取り入れた、見た目もユニークな卓球台。港をイメージした得点板も設置されており、老若男女、知らない人同士でのプレイも気兼ねなく挑戦することができます。



PROFILE：原倫太郎…1973年 神奈川県生まれ。「変換」をキーワードに、デジタルなエレメントをアナログ的手法で、インスタレーションを制作。／原游…1976年 東京都生まれ。画布、木枠、色層などの絵画のコードをテーマにした絵画を制作。絵画の可能性を探求し、幾つかのシリーズを展開。

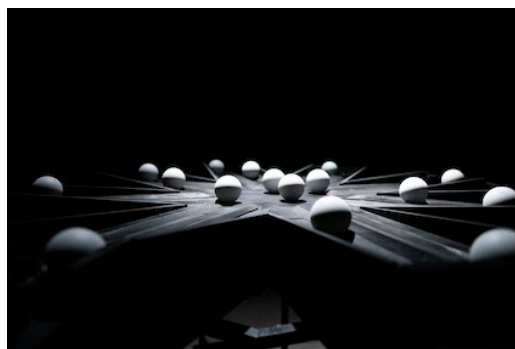
原倫太郎+原游として、2012、2015年「大地の芸術祭 越後妻有トリエンナーレ」新潟、2017年「北アルプス国際芸術祭」長野、2019年「瀬戸内国際芸術祭」女木島/香川、「水あそび博覧会」越後妻有里山現代美術館/新潟などに参加。2008年「第11回文化庁メディア芸術祭」（エンターテインメント部門奨励賞）を受賞。

[3] Movement act (ムーブメント・アクト)

作家名：小野澤 峻 / Shun Onozawa

8方向から木造のレールが中心で交わる構造体。レールにはそれぞれボールが行き交うための機能部品(ソレノイド)が取り付けられ、向かい合うソレノイド同士でキャッチボールが行われます。同時にキャッチボールし行き交うボールのムーブメントを追うことに、思わず見入ってしまう作品です。「誰でも夢中になれる時間」を楽しむことができます。

*参考映像 = <https://youtu.be/9oGsOBu0hLY>



PROFILE：1996年群馬県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程在籍。作家活動のみならず、アート連携事業事務局長、写真家やイベントコーディネーターなど、様々な分野で活動。ジャグリングパフォーマーであった経験を活かし、エンターテインメント性を含めた展示をテーマに作品を制作している。

◆出品作家：作家10組・大学5校・企業1社、プログラム数は全19点を予定（2019年8月現在）。高橋匡太、ミラーボーラー、原倫太郎+原游、日下淳一、徳永宗夕、松本大輔+ 原田弥+、武内満、石井結実、小野澤峻、森田葵衣、チーム・ソラ（関東学院大学 建築・環境学科 x 読売理工医療福祉専門学校 建築学科）、城西国際大学 メディア学部クロスメディアコース、多摩美術大学 メディア芸術コース+ヒビノ株式会社、東京藝術大学 デザイン科・空間演出研究室、東京大学 筑康明研究室、株式会社中川ケミカル

【スマートイルミネーション横浜 2019 開催概要】

期 間：11月1日(金)～11月4日(月・祝) 17:30～21:30

場 所：象の鼻パーク、象の鼻テラスほか

入場料：無料

主 催：スマートイルミネーション横浜実行委員会

共 催：横浜市

本事業は平成31年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業に採択されています

公式WEBサイト <http://www.smart-illumination.jp/>

<INFORMATION>

事務局では会期中お手伝いいただけるボランティアを募集しています。詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

スマートイルミネーション横浜実行委員会 事務局

TEL：045-633-9660（平日10:00～18:00） ・ FAX：045-662-0082

広報担当（榎原あすか） TEL：090-9310-5459 ・ MAIL：sij@ludens.be

